

2/16 まちづくりの核となる  
図書館の意義と役割



よろーなで開催。北海道大学の森傑教授を講師に実施され41人が参加。この時代、図書館に求められるものは本を借りることだけではないと説明し、今後の図書館のあり方を話されました。

施設の中に図書スペースを設置するという考え方も重要と説く。

2/15 市民の健康を守る医療講演会



グランドホテル藤花で医療講演会が開催され、およそ130人の市民が参加。たに内科クリニックの谷光憲院長と高橋朱音管理栄養士がそれぞれ健康維持に必要な情報を説きました。

同時に2つのことを行う、あれ・それを使わない会話を。

2/15 ~ 3/7 世界ジュニアカーリング選手権大会で銀メダル



2月15日、名寄カーリング協会ジュニアクラブに所属する三浦由唯菜選手、松永愛唯選手、佐久間優名選手が訪問し「2023世界ジュニアカーリング選手権大会」へ日本代表として出場することと大会への抱負を加藤市長に報告し、決戦の地ドイツへ向かいました。2月25日から各国の代表と対戦し、予選リーグでは6勝3敗の好成績で決勝トーナメント進出。準決勝では予選全勝だったスイスと激突し、9エンドまで追う展開でしたが最終エンドでスーパーショットを繰り出し大逆転、スコア7-5で破り決勝に進出しました。決勝戦はスコットランドと対戦し、お互い一步も譲らないゲームを展開。最終エンドで逆転を許し、惜しくも準優勝となりましたが、2年連続で名寄出身の選手がメダルを獲得しました。対戦時は市民文化センターでパブリックビューイングも行われ、1回のショットに一喜一憂しながら選手と一緒に喜びを共有していました。3月7日に来庁し、加藤市長へ結果報告するとともに、感想や支えてくれた方々へ感謝を伝えました。

世界ジュニアカーリング選手権2023は、ドイツ南部にあるバイエルン州のフュッセンという都市で開催。



競技会場での掲載写真は World Curling Federation (Facebook) アカウントから引用しています。





ホームページのほかにも市公式フェイスブックや市公式LINE(3月16日現在、友だち登録者1万3985人のLINEVROOMでもまちの出来事を紹介しています。

## 2/21 名寄ピヤシリ大学 卒業式・修了式



市民文化センターで行われ、大学・大学院あわせて9人の方が卒業・修了しました。最後に卒業生たちは花束を手渡され、誇らしい表情で旅立ちました。

今までの思い出振り返るかのようゆっくりと入場していました。

## 2/19 スポーツ健康 フェスティバル2023



風連B&G海洋センターなどで開催し、多くの親子が参加。興味を示すスポーツに、あちこちに参加しようと子どもたちの手にひかれ、親もまた走りまわっていました。

現役ファイターズガールによるダンス教室も行われました。

## 3/4 イオンdeボッチャ



イオン名寄店多目的広場において、市立大学などがボッチャの体験会を実施。参加した市民の方は投球における動作技術のほか、その戦術・攻略方法にも関心を寄せていました。

大学は今後も継続して実施することを検討しているとの事。

## 2/26 ふうれんスキー場まつり



風連スキー場で開催され、およそ100人ほどの親子が参加しました。大回転競技のほか、宝探しやバナナボート滑りも行われ、子どもたちは笑顔にあふれていたようです。

観光キャラクター「なよろこ」も華麗にゲレンデを疾走。

## 3/10~12 JOCジュニアオリンピックカップ2023



ピヤシリシャンツェ、なよろ健康の森でそれぞれ競技が開催され、総エントリー数713人が出場しました。比較的暖かい天候が続いていたため、競技者側から見て良好な状況ではなかったものの、選手たちはチームメイトやコーチたちの声援をエネルギーにし、今までの練習の成果をいかに発揮。最後の瞬間まで諦めない姿勢で臨んでました。



6人の名寄市出身選手がエントリー、力の限りをふり絞りました。